

令和6年2月13日（火）14:00～16:00

嶺南教育実践フォーラム

ふるプロ

「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト  
研究実践発表

# 1 ふるプロとは

- 自ら「問い」を作る力
- 対話力、協働する力
- 発信力、課題解決力

探究学習というベースに、  
ふるさと学習というテーマを乗せて、  
学校種間で連携しながら、

手段

必要な資質能力を身に着け、  
併せてふるさとに愛着をもつ  
子どもたちを育てる

目的

試みをするプロジェクト

## 2 進捗状況



●他市町や異校種間で実践を交流

R3

●「自ら『問い』をつくる力」について実践研究・発表

R4

●探究的な「ふるさと学習」における **課題解決の質を高める**

R5

～ 対話・協働の充実を図って～

～ 教科の見方・考え方を働かせて～

◆探究 ◆課題解決 ◆対話・協働  
◆教科の見方・考え方

# 所内実行委員会

## 「連携サポート・広報」 チーム

研究推進校のサポート  
「ふるプロ会議」の内容を発信

内浦中



大飯中



上中中



鳥羽小



美浜西小

# 所内実行委員会

## 「学び・交流推進」 チーム

学び・交流を生み出す R-cafe の開催  
嶺南教育実践フォーラムでの交流促進

「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト (ふるプロ)  
先生たちの「学び・交流」オンライン座談会

参加者募集

# R-cafe

第2回

～探究的なふるさと学習と教科学習～

令和5年  
**11月22日(水)**  
15:00～16:30

國學院大學 人間開発学部 初等教育学科  
教授 **田村 学 氏**

《プロフィール》  
新潟県生まれ。新潟大学教育学部卒業後、新潟県公立小学校教諭、上越教育大学附属小学校教諭、新潟県柏崎市教育委員会指導主事を経て、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局視学官として学習指導要領作成に携わる。平成29年より現職。  
《著書》  
『「探究」を探究する』(学事出版)  
『深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント』(文溪堂)  
『「ゴール」→導入→展開』で考える「単元づくり・授業づくり」』(小学館)  
『授業を磨く』『カリキュラム・マネジメント入門』『深い学び』(東洋館出版社) など多数

第29回嶺南教育事務所教育研究発表会

# 嶺南教育実践フォーラム

～夢と希望あふれる教育の創造と実践への挑戦～

R5開催テーマ  
**つながりながら、拓く。**

「学校」は、誰一人取り残さず、1人1人にとって豊かで幸せな未来に向かう場であってほしい。それには、学校だからこそ様々な「つながり」が果たす役割は大きい。誰が、何と、どのように「つながる」ことが、学校の「これから」を、子どもの「未来」を、教師の「明日」を拓くことにつながるのだろう。フォーラムという「つながり」の場を通して、一緒に考えてみませんか？

実施要項はこちらから↓



「嶺南教育事務所がめざす嶺南の子」 ○自分と向き合い・考える子 ○自らつながる子

◆日時◆  
令和6年 2月7日(水)、8日(木)、13日(火)、15日(木)  
ふるプロ 特別講演

◆内容◆

- ◇ 研究員発表  
一人一人が主体性を発揮できる学校づくり  
～子どもの対話的な学びを支える～
- ◇ 嶺南ふるさと学習推進プロジェクト  
「課題解決の質を高める対話・協働のあり方」『知る』vol.3  
「教科の見方・考え方を働かせて課題解決の質を高める」  
「つなぐ・広げる」vol.1
- ◇ 特別支援教育

◆特別講演◆

「学び合う学び」を  
子どもたちに

東海国語教育を学ぶ会  
顧問 **石井 順治 氏**

プロフィール  
1943年生まれ、三重県内の小学校で主に国語教育の実践に取り組むとともに、「国語教育を学ぶ会」の事務

# 「指導と評価」 調査研究チーム

次年度に向けての現状調査

第1ステージ

知る

●他市町や異校種間で実践を交流

R3

●「自ら『問い』をつくる力」について実践研究・発表

R4

●探究的な「ふるさと学習」における **課題解決の質を高める**

R5

～ 対話・協働の充実を図って～

～ 教科の見方・考え方を働かせて～

第2ステージ

つなぐ  
広げる

学校種や市町  
を越える



学校同士が  
つながる



学びが広がる

R6

第3ステージ

つくる  
かかわる

- ・ 探究のアドバイス
- ・ 民謡踊りの講習

松原小

角鹿中

敦賀高校

美浜中

敦賀工業

中郷小

- ・ プログラミング学習
- ・ 建築製図体験

- 課題研究で地域の子ども向けイベントに参加

嶺南西

若狭高校

小浜二中

大飯中

若狭東高校

## 学校開放も中高で連携

若狭東高が地域の子どもたちを招待する学校開放イベント「チルフェス」が11月25日、同校開放された。今回初めて、地域の中学校の生徒運営や発表に参画。中高が連携し、自分たちの学びを生かして子どもたちを歓迎した。参加した子どもたちは「サツトリや食物クスなど楽しかった」、中学生は「先輩の取り組みが自分の参考に」。若狭東高は、地域の子どもたちに喜ばれ、学びの場になった（なご話）。「三者」が収穫を得たイベントだった。

### 若狭東高



### 子ども招待 2中学参画

もたの反応を学びに生かす。同校で栽培したトマトは、小浜二中や飯中生徒が支援員として参加。皿や機材の運搬など手伝った。将来の職業に保育士を考えていると参画した小浜二中3年の男子生徒は「1日の高校生は全体を見渡して声かけしたり、すごいと感じた」と話し、「中学生を導かず時間、絵本の読み聞かせをしてもらって、楽しみながら参画した」と話していた。小浜二中は海洋科を専攻する紙芝居、海洋プラネットからフリードムを作るワークショップも出展。紙芝居チームは「自分たちの学びを増やせてよかった」とし、引率教諭は「地域との関わりやイベントは高校生が進んでおり、その機会を利用してもらいありがたい。中学生にも学びは多い」と話していた。

福井新聞2023.12.3

- 各種行事
- 雲竜丸乗船体験



- 6年生が、中・高校生に対して探究学習の成果を発表



美浜町内小学校

美浜中

美方高校

福井新聞2023.12.3

- ふるさと学習の発表交流
- 探究についての相談
- 嶺南小中高探究サミットに参加



**舞鶴工専**

**若狭高校**

**上中中**

**高浜中**

**大飯中**

**町内小学校**

- 問いの立て方や探究活動を進めるためのアドバイス
- プレゼンの方法についての助言

- ・全国産業教育フェア での交流
- ・学習の成果の交流
- ・コウノトリの探究学習の内容交流

**奥越特支校**

**越前市立白山小**

**嶺南東**

**三方小**

**鳥羽小**

**他府県の学校**

**北海道落石小**

**福岡県小呂小**

# ふるプロ 研究実践発表

2月1日～

オンデマンド



美浜西小学校

大飯中学校

本日

14:10～

内浦中学校

14:25～

上中中学校

14:40～

鳥羽小学校

15:00～

グループセッション

15:45～

講評 福井大学教職大学院 中森一郎教授



各グループセッションの記録はチャットで共有

# 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト

## ふるプロ

嶺南のふるさとを生かした「探究的な学習」

知る

つなぐ  
広げる

つくる  
かかわる

育む「ふるさと愛」

- ・ 地域を生かす、守る
- ・ 地域とつくる、育てる



育てる「資質・能力」

- ・ 自ら「問い」をつくる力
- ・ 対話力、協働する力
- ・ 発信力、課題解決力

高校

中学校

小学校

探究的な学習活動の充実  
つけたい力の系統化

「問い」を  
深く探究

嶺南教育事務所  
推進プロジェクト実行委員会

○調査・研究プロジェクト

- ・ 資質・能力の評価（調査・研究）

○学び・交流推進プロジェクト

- ・ R-cafeの開催、嶺南教育実践フォーラム

○連携サポート・広報プロジェクト

- ・ 学校事業のサポート（訪問研修等）
- ・ 情報の発信（HP、STEP等）

嶺南市町教育委員会・学校（小・中・県立学校）推進プロジェクト